

保育室で給食を食べていると前に座っているA君が私の後ろの園庭を眺めながら「園長先生、

今日はお外で遊んじゃダメだよ。

おめめ痛くなるからね」と言いました。振り向くと砂嵐でした。

春の嵐が北から南から吹き荒れました。

北風で寒くなったり、南風で暖かくなったりしながら、

春が生まれる前兆なのでしょうが。

もうすぐ、こども園の一年が終わります。

子ども達は一年ですっかり成長し、

進級、巣立ちの時を迎えます。



行事予定表		
2	木	入園説明会(13:30~)/子育てサロン
3	金	交通安全教室(5歳児)
6	月	小学校見学(5歳児)
7	火	ピヨピヨひろば
8	水	お別れ遠足(5歳児)
9	木	リトミック
10	金	避難訓練(通報訓練・立合い検査)
15	水	カレーの日
16	木	誕生会/子育てサロン
22	水	お別れ会/お別れバイキング
26	日	卒園式(10時~)
31	金	終業式

今月のねらい
 ・一年間の思い出作りをしながら、異年齢交流を計画し、沢山遊ぶ。
 ・就学、進級に向けて期待を持ち、基本的な生活習慣を再確認する。

保育参観へのご参加、

有り難うございました！

・進級に向けて幾つかお話をさせて頂きました。が、自分で出来る事は自分で行う習慣や、生活リズムを整える事などは保育園とお家の方と一緒に考えて行けたらと思います。また、ご心配な事がありましたら、いつでもお声掛けください。

今月の予定の中から

●交通安全教室(3日)

・今回は5歳児のみ参加の『公道を歩く』です。牛久シャトーへの道のりを交通ルールの再確認をしながら歩く予定です。

●牛久二小・小学校見学(6日)

・就学目前の5歳児が、小学校へ行き、授業や校内を見学させて頂きます。(雨天の場合は、カップ・傘を使用しての実施となります。)

●お別れ遠足(8日)

・牛久市のバスをお借りして、保育園から「茨城県自然博物館」へ5歳児がお別れ遠足に出掛けます。仲間との楽しい思い出を作ります。

●リトミック(9日)

・今年度最後のリトミック。1年間の成長を中島先生に見て頂き、感謝の気持ちを伝えます。

●避難訓練(10日)

・今年度最後の避難訓練は、消防署の方に訓練を実際に見ていただくと共に、水消火器を使って消火の実際を見学します。また、園内の消防施設の立ち入り検査もして頂きます。

●カレーの日(15日)

・先月は、インフルエンザ流行の為、野菜洗い・フルーチェ作り・配膳係等実施出来ませんでした。

た。今月のカレーの日は、五感への刺激を感じながら、異年齢交流を楽しめたらと思います。

●誕生会(16日)

・3月生まれの子どもの待ちに待った誕生会。今月は、劇団風の子による小さい劇場「いやだいやだのペンペロペー」で、子ども達とのやりとりをしながらの劇だそうです。子ども達の反応が楽しみです！

●お別れ会・お別れバイキング(22日)

・4歳児の子ども達が進行をして、5歳児とのお別れ会を進めます。それぞれのクラスが、ぞうグループとの別れを惜しみ、感謝の気持ちを伝えます。4・5歳児は昼食もバイキングです。

●卒園式(26日)

・今年35名の子ども達が卒園します。式は年長児そして、年長児保護者のみの参加となりますが、詳細については後日お知らせ致します。
☆お知らせ★おねがい
 ☆今年度も、保護者会から空気清浄機・運動遊具・玩具等を購入して頂きました。大切に使用して頂きます。有り難うございます。

☆H29年度日程について

★入園式・始業式：4/1(土) 9時半～
 ＊保護者会総会・保育参観：5/13(土)
 ・両日共に園行事の為、土曜日保育は実施致しませんので、ご協力お願い致します。

「育つ力と育てる力」

発表会は素晴らしかった。子ども達の真剣な眼差し、澄んだ歌声、年少児の楽しい姿、年中児は少し緊張してしっかりととした合奏、そして最後に年長のピンと背筋が通って圧倒される程の迫力ある演奏と合唱に、保護者の皆様は感動の涙。

たった一年で、こんなに成長する子ども達の姿に、心が揺さぶられる程の感動を覚える。子どもは、あつという間に大きくなる。体もしっかりして、動きも機敏

になる。外見だけでなく、語彙も増え、言葉も滑らかに、コミュニケーションも上手になる。そして、他者の思いを理解し、他者の立場を思いやる優しい心を持つようになる。子どもは、子どもにふさわしい時間を生きることにより、体

も心も脳も成長する。一年のしめくりの行事でそう感じた。▼子どもは育つ力が元々あるが、それは育てる力がなければならぬ。虐待された子どもは育たない。親や周囲の愛が無ければ育たない。ネグレクトされたり、体罰を受けていれば心が曲がってしまうだけでなく、体も育たない。数年前に3歳になった女の子が、段ボールの中に押し込められ、臭いからと、物置に放置され、衰弱した事件があった。体重は5キロしかなかった。

育つ力がなくなってしまうのだ。私は体が震えるほどの怒りと悲しみを抑えることができなかった。子どもは大人の愛がなければ育たないのだ。▼渡辺京三の「逝きし世の面影」では、外国人の誰もが次のように記している。「人々の質朴な習俗とともに、いたるところに満ちている子ども達の楽しい笑い声を聞き：日本は美しい豊かな国だ」と。私達は、子どもを宝物のように大切にしてきた。だから発展してきたのだ。発表会が終わった後に、各クラスに行くと、子ども達は十分に満足した表情で、自信に溢れ、笑顔が輝いていた。この子ども達は、愛されている、幸せなのだと感じた。

「追記」大人の愛は歪むことがある。悪にも善にもなる。子ども中心の愛こそ、本当の愛であり、大人の思いが強すぎ、子どもを大人の意のままにしようとすると、歪んだ愛になる。

理事長 浅田 精利

